

平成29年度西脇市健康づくり推進協議会記録

平成29年8月23日（水）

午後1時30分～午後2時45分終了

生涯まちづくりセンター2階会議室2

1 開 会

司会 : 健康課長

出席委員紹介 : 12名

職員紹介 : 8名高田くらし安心部長、塩崎健康課長、
長井保険医療課長、村井長寿福祉課長、
西村主査、森脇主査、岡本主査、藤井主査

欠席委員報告 : 4名

傍聴者 : 0名

2 あいさつ（市長）

3 会長及び副会長の選出

西脇市健康づくり推進協議会条例第6条第2項により、会長、副会長の選出をお願いいたしたいと思っております。どのようにさせていただいたらよろしいでしょうか。おはかりさせていただきます。事務局の方から指名させていただいてもよろしいでしょうか。はい（委員）。ありがとうございます。事務局の方から指名させていただきます。会長には、西脇市連合区長会会長の齋藤委員に、副会長には、西脇市保健衛生推進委員会会長の大隅委員に御就任をお願いしたいと存じます。みなさま拍手をもって賛同をお願いいたします（委員全員拍手）。ありがとうございました。それでは齋藤会長、大隅副会長、どうぞよろしくをお願いいたします。

ここからの議事進行は齋藤会長をお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

4 報告・協議（議事進行：齋藤会長）

(1) 健康づくり事業について（資料参照1～14ページ）

平成28年度西脇市健康づくりセンター事業報告

- ・町ぐるみ健診、がん検診の受診状況について
- ・歯科保健事業について
- ・健康教育事業について

（事務局から説明）

委 員：がん検診の精密検査結果を返信していない医療機関は多いの

か。

事務局：返ってきていない医療機関もあります。

委員：精密検査を受診されているかどうか、他に分かる方法はあるのか。

事務局：医療機関からの返信で把握しています。

委員：肺がんの精密検査受診率80%とあるが、残りの20%は医療機関からの返信がない、もしくは受診勧告を受けたのに受診していないということか。

事務局：2～3か月経過した時点で、精密検査未受診者に対して再勧奨を行っています。

委員：再勧奨者の中には、実際受けた人もおられるのか。

事務局：はい。そういった方には本人から直接受診結果を伺います。

委員：医療機関への精密検査依頼書と一緒に返信用封筒も付いているのか。また、結果は本人か医療機関、どちらから健康づくりセンターに送るのか。

事務局：返信用封筒は付いています。返信は医療機関からです。

委員：それでも返ってこないところがあるのか。

事務局：はい。

委員：どこの医療機関が返信されないとカリストはあるのか。3か月児健診の回答は返信用封筒が付いているので、返信していると思うが、なぜ医療機関で止まってしまうのか疑問である。最後まで追跡調査をして理由を把握してほしい。そうでないと医師会としても対応できない。

事務局：はい。

委員：町ぐるみ健診は減ってきているということであるが、市が補助している人間ドックはどういう状況なのか。

事務局：27年度と28年度を比較すると、人間ドックや脳ドックを助成で受診された方が、30人程度増えているだけですので、こちらが大幅に増えて町ぐるみ健診が減少している訳ではありません。今年度の国保の人間ドックや特定健診の申し込み状況、春先の町ぐるみ健診の実績ともに前年度と比較すると若干減少していますので、これから受診勧奨していく予定です。

委員：町ぐるみ健診と個別検診の歯周病検診ですが、町ぐるみ健診の場合は申込みですか。

事務局：はい。

委員：個別検診で行っている随時の歯周病検診はどのようにして受診するのか。

事務局：個別検診の歯周病検診は40歳から70歳の節目年齢の方に4月末に案内はがきで通知しています。そのはがきを持って受診

していただきます。

委員：受診者 245人は対象者の何%ぐらいか。

事務局：11.0%です。

委員：受診されると費用が発生し、市に請求するため、歯科医院から結果を送付しないということは、まずないと思う。通知を受け取った人が受診するかどうか、11.0%ということだと思う。

委員：この前、介護保険の運営協議会で、歯科医師から西脇市民の歯は非常に悪いという指摘をされたが、歯周病検診の受診率を向上させる方法はないのか。町ぐるみ健診も個別検診も受診されるのを待っているという方法であるが、歯科医師会との連携で人の集まる所へ出て行って行う方法を検討してほしい。受診率が増え、歯が健康になると健康寿命の向上に繋がるのではないか。

委員：歯というよりも咀嚼力、摂食、嚥下等の口腔機能が大事になっている。おりひめ体操も体と口の体操があるが、口の体操は知られていない状況にある。口の体操をする際に、口腔機能の筋肉、咀嚼力、嚥下力の関係やおりひめ体操で何のためにこの体操するのか等、重要性を理解してから行う方がよいので、その際は歯科医師会が協力するので申し出ていただきたい。

委員：町ぐるみ健診の受診率を出していただければ、連合区長会で応援して受診率を上げることもできると思う。

(2) 母子保健事業について（資料参照15～20ページ）

（事務局から説明）

質問・意見なし

(3) 地域医療を守る取組みについて

- ・市民フォーラムについて

（事務局から説明）

- ・地域医療を支える市民の会

（地域医療を支える市民の会会長から説明）

地域医療川柳入選作品、これは去年から西脇病院フェスタで、地域の方がどのように医療に対して考えておられるか、17文字の川柳で詩っていただいたらどのようなになるのかとの思いで、今年も募集をしました。今年は、去年より句数も増え、

内容も医師に対する尊敬の念や開業医との会話など、面白い川柳を出していただきました。手元にお配りしているのは、入選作品のみですが、応募作品全ての冊子作りをしていますので、後程お配りしたいと思っています。私たちは、みなさんに関心を持っていただくために、川柳の募集やこども園で命の大切さを伝える紙芝居を行う予定です。また、地域医療川柳に医師会や歯科医師会に援助をしていただき、十分な副賞を付けることができました。

・小児医療を守る会

(西脇市小児医療を守る会代表から説明)

活動は今年で9年目になります。当初は署名活動等をして西脇病院の小児科医の増員に、少しはお力になれたのかなと思っています。現在は主に、お子さんが急病になった時にあわてずに病院を受診できるようにという思いで、先輩ママから新しいママへお伝えするような勉強会活動を行っています。それと併せて、冊子を作成し配布しています。この冊子は先程の母子保健事業の中にありました、新生児の赤ちゃん訪問の時に、健康づくりセンターを通じてお配りしています。また、医師会や市民の会の方と一緒に各中学校で活動や地域の取組みなどをお話しさせていただいています。未来の西脇を支えていく子どもたちに直接伝えることができ、子どもたちの率直な意見が聞け、自分たちの活動する上での励みにさせていただいています。

質問・意見なし

(4) 新規事業について

- ・子育て応援ステーションはびいく
- ・胃の健康度チェック（ABC検診）
- ・若年者の在宅ターミナルケア支援事業
- ・介護予防事業

(事務局から説明)

委員：おりひめ体操の自主グループの体力測定結果の項目に、できれば口の体操の評価として、例えば嚥下力を見るために、30秒間に3回以上唾液を飲み込めるか等の項目を入れてはどうか。

事務局：ありがとうございます。また御相談させていただきます。

- 委員：各地区でいきいきサロンをされているが、その中で別メニューとして口腔運動をされているグループが多々あり、元気にいきいきと暮らしている地区もある。そういう事が広がっていけばいいと思う。
- 委員：子育て応援ステーションはびいくは4月から始まり、半年ほど経過しているが利用者はおられるのか。また、1歳までのプランですが、1歳過ぎた方はそれで終わりという訳にはいかないと思うが、フォローアップはどのように考えているのか。
- 事務局：具体的な人数はこの場では分からないが、母子健康手帳の交付時、電話、来所で相談はあり、その中で気になる方や手厚い支援が必要な方というのは、毎月連絡会をしながらその方の経過やどういうフォローが必要かを検討しています。また、1歳を過ぎても必要な方には引き続きフォローをしていく予定です。
- 委員：特定健診の受診率が低いということで、市からかかりつけ医の医師に対し、患者さんに特定健診を受けてみませんかと声かけの要請があったと思うが、歯科医でも特定健診や歯周病検診の声かけをしていただけたら、受診率が上がってくるのではないかと思う。
- 委員：21ページの栄養改善事業の説明がなかったが、内容を見ると、いずみ会活動やヘルシークッキング等作る方の活動が多い。高齢者の男性等はコンビニやスーパーのお惣菜等を買って来て食べる人が多いと思う。作り方、栄養等の難しい話より、食べ方、買い方といった実用的な食生活の改善を取り入れていけばよいと思う。
- 事務局：健康づくりということで高齢者を含め、そういった意見を取り入れていきたいと思えます。ありがとうございました。

(5) 意見交換

- 事務局：がん検診についての現状を報告させていただきましたが、このような結果を踏まえ、健診受診率向上に向けて今年度は若年層の方への啓発を強化する取組みを計画しています。また、新規受診者の開拓に合わせて、過去受診者で継続受診ができていない方への再勧奨を計画しています。ただ、様々な取組みを検討していますが、伸び悩んでいます。受診されない理由には、費用面、忙しい、自分は健康である等様々な意識があり、委員の方が感じられている意見や感想等がございましたら今後の取組として参考にさせていただきたいと思えます。

のでどうぞよろしく申し上げます。

委員：市民フォーラムが来年の1月27日にあると市から連絡があったが、大牟田市の大谷氏の認知症の講演があります。この方は大牟田市で市民の会をつくっておられて、大牟田市では認知症の方が街を徘徊されていますが、中学生や高校生が「おばあちゃんどこに行ってるの？」と簡単に声をかけられるような町づくりを目指されています。そんな方の話なので西脇市でも非常に役に立つと思いますので、みなさん是非参加してください。

5 閉会 事務局

今回は来年度の初めに開催したいと思います。